

8・1 作文メモ ～痛かった思い出～

始め

「痛っ。」私の足は気がつくと思っていた。

終わり

保冷剤を当てると痛みが少し収まった。

まるで

静電気が起こったときのように痛かった

1 段落・2 段落

- ・私の痛かった思い出は骨折
- ・3年生の時にボールプールで
- ・よくわからないけど、弟と弟の同級生たちにボールを投げられてバランスを崩してなったと思う
- ・憎たらしくてしばらくずっと恨んでいた
- ・遊び始めてすぐだったし、もっと遊びたかったから我慢した
- ・じんじんしてとても痛いという思いもあったけど、「なんでボールプールでなるわけ!？」という気持ちが強かった
- ・保冷剤をゴムなどで固定して当てながらあそんでいたけどずれるし痛いしで最悪だった

3 段落

- ・小2の弟の話
- ・サッカーで怪我していたいけどやりたいからやった

4 段落

- ・私と弟の行動はしたいことがあると痛くても我慢してやるくせがあるということがわかった

